

宮銀2期連続増収増益

4～6月期 貸出金利息増加

宮崎銀行は8日、2025年4～6月期決算を発表した。売上高に当たる経常収益は前年同期比14・3%増の198億6千万円、経常利益は20・3%増の48億7千万円で、2期連続の増収増益となった。貸出金利息や有価証券利息配当金が増加した。純利益は15・7%増の34億4千万円。

コア業務粗利益は12・9%増の117億6千万円。貸出金利息が11億5千万円、有価証券利息配当金が5億4千万円、役員取引等収益が1千万円それぞれ増加した。本業のもうけを示すコア業務純益は32・6%増の53億3千万円。貸出金残高は個人、法人

とも増加し、963億円増の2兆3993億円。預金残高は個人、法人ともに増加して165億円増の3兆2342億円。

自己資本比率は2025年3月末から0・17%上昇し、9・80%となった。杉田浩二頭取は「行員の頑張りにより経常利益が過去最高となるなど、素晴らしい数字になった」と述べた。

(湯田光)